

国道 387 号線（日田街道）沿いの坂本善三美術館近くにある美しい滝です。国道から滝までの直線距離はさほどではありませんが、国道側から滝は見えません。滝がかかる中原川を越えたあたりから側道に入り、車から降りて川に沿って下流へ 300m 程向かった後、竹林の中の階段を下ります。階段の先の深い藪をかき分け河原に出て、上流に向けて遡行し、葦原をかき分けると大きな滝壺の前に出ます。普通のゴム長靴では不十分で、溪流釣り用の胴長は必須、安全のため、ヘルメットや登山用ステッキも必要です。滅多に人が来ないこともあって、ほとんど荒らされることもなく、200 年以上前に描かれた《領内名勝図巻》と変わらない景色に感銘を受けました。苦労して来る甲斐のある素晴らしい眺めではありますが、観光気分でここまでたどり着くのは難しいと思われます。



200 年前と変わらぬ景観の城村滝



マイナスイオンを感じるスポット



永青文庫所蔵



現在の風景



所在地：熊本県阿蘇郡小国大字宮原



ギャラリーに設置してある  
 タッチパネル式ディスプレイで  
 4k 画質の動画をお楽しみいただけます